

飛島学園の日常修繕箇所について

1 はじめに

飛島学園は 2009（平成 21）年度に建築され、2010 年に小中一貫教育校として開校してから、16 年経過しようとしております。令和 3 年 3 月に策定した「飛島村学校施設長寿命化計画」（以下「計画」という。）では、2026（令和 8）年度に日常修繕を行うことが計画されております。現状としても、一部劣化が進んできているため、予防保全を行うことで長寿命化を図ることを検討しております。

2 日常修繕について

計画の改修等の基本的な方針に基づき、以下のとおり定義されています。

- ・ 日常修繕…経年劣化に対する機能回復を目的とした工事
（例）タイル等の補修、給排水管の更新、機器の更新
- ・ 大規模改修…全面的な機能回復及び機能向上を目的とした工事
（例）防水の張替え、外壁の塗替え、鉄筋腐食対策

3 令和 8 年度以降に予定している日常修繕箇所について（別冊参照）

飛島学園は開校後、15 年経過しており、他の公共施設と比較すると新しいですが、村が保有する公共施設の保有面積の約 20%を占めています。

日常修繕で対応を予定している箇所については、令和 6 年度より飛島学園から要望のあった箇所を精査し、以下のとおり検討しています。

- （1）エコキュート
- （2）自転車置き場・屋外倉庫のペイント
- （3）グラウンド
- （4）なかよし広場ステージ
- （5）なかよし広場・中等部南テラス・中等部西テラスのデッキ・ベンチ
- （6）メディアセンター水銀灯
- （7）メディアセンター窓ガラスフィルム

4 今後について

重点事業等実施計画に基づき、工事仕様を確定次第、来年度予算用見積の徴取を行います。